はばたけ！JTサンダーズ広島

竹田 英司

2度目のファン交流会が開催された。事情があってキャンセルされた方がいらした、と聞いた山本将平主将は、「やっぱり金子（聖輝選手）と山本じゃあ、魅力がなかったのかな…」と寂しげにつぶやいた。

もちろんそのようなことはない。力強いジャンプサーブを放つ山本主将の細身の体と少年のような笑顔は、男の私から見ても美しく魅力的だ。しばらくすると井上慎一朗選手が所用で事務局に来て、そのまま交流会に参加。司会の吉岡光大さんに促されて、「どの試合会場が印象的でしたか」とファンへの質問を読み上げた。

夢や希望 どんな時も

それを聞いて私が思い起こしたのがVリーグ最終戦、松本大会の控室。平井海成選手が試合前、「竹田さんは今日、ピンチサーバーで試合に出るらしいですよ」と冗談を言ってきた。私は「せっかくオポジット（エドガー選手が担当する攻撃的ポジション）の練習を始めたのに…」と残念がるふりをして笑い飛ばした。

さらに、エドガー選手に向かって、「Ｉ ａｍ ａｎ ｏｐｐｏｓｉｔｅ ｐｌａｙｅｒ（俺はオポジットの選手だ）」と言うと、エドガー選手は首を振りながら「確かに俺たちとはｏｐｐｏｓｉｔｅ（正反対）だな、いろいろな意味で」と強烈な皮肉で返してきた。

うそから出たまこと。最近、私はオポジットの位置からリハビリ中の井上航選手が上げるトスをアタックしている。良くも悪くも口に出すとかなうので、現状を嘆くより、どんな時も夢や希望を語っていたい。

（ＪＴ広島マネジャー）

交流会に参加した、左上から時計回りに司会の吉岡さん、井上慎、山本、金子の各選手